



やまがた

議会だより

No. 176

2022. 8. 1発行
岩手県山田町議会



サカエヤカラ

シリーズ 家族の笑顔

長崎地区在住の武藤さん家族。
町への提言、思いを伺いました。
(関連記事P12)

6 月
定例会

新・道の駅建設工事を可決 - 2 P

町政を問う (7人が一般質問) - 4 P

町内経済への波及効果を もたらす施設として期待

6月

定例会の あらまし

令和4年6月定例会は6月7日から10日まで4日間にわたって開かれました。町長提案の議案14件を審議し、全て原案のとおり可決しました。(2〜3ページ)



新・道の駅「やまだ」
外観イメージ図(上)
店舗内イメージ図(下)



一般質問では7人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。(4〜11ページ)

定例会の議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、9月下旬ころから、議会ホームページ、町立図書館で閲覧可能となる予定です。

新・道の駅建設工事を可決

町 内経済への波及効果をもたらす施設として、(仮称)新・道の駅「やまだ」の建設

工事を行うため、議案〔(仮称)新・道の駅「やまだ」建設工事の請負契約の締結に関する議決を求めることについて〕が提案され、全員賛成で可決しました。

▽受注者
株式会社八幡建設
(金石市)

■質疑応答

問 施設の中に、観光情報・道路情報室があるが、国の観光情報を展示する場所となるのか。また、町の観光スポット情報も発信するのか。

川守田政策企画課長

道路情報と、町の観光情報を映すモニターの2台を設置する。国は道路情報の発信、町は観光情報を発信することで計画している。観光情報の発信については、町の観光スポットなど、様々な情報を発信し、まちなかに人の流れを呼び込むようなつくりをしたいと考えている。

■工事の概要
▽建設予定場所
山田町山田地内(山田IC付近)

▽工期

4年6月15日
〜5年3月31日

▽構造

鉄骨造 平屋建て

▽契約金額

9億794万円

議決結果

主な議決議案の内容

定例会で議決した主な議案の概要をお知らせします。どの議案も原案のとおり可決しました。

□大沢地区の

新たなコミュニティ施設建設へ

大沢地区の新たなコミュニティ集会施設となる（仮称）大沢地区ふるさとセンターの建設工事が提案され、全員賛成で可決しました。

- ▷工期 4年6月15日～5年2月28日
- ▷契約金額 2億680万円
- ▷受注者 佐々勇建設株式会社（宮古市）

□日当橋補修工事を可決

「山田町橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、老朽化した豊間根地区の日当橋を補修するための工事請負契約について全員賛成で可決しました。

- ▷工期 4年6月14日～5年2月20日
- ▷契約金額 6306万円
- ▷受注者 佐々総業株式会社（境田町）

□4年度一般会計補正予算（第2号）

新型コロナウイルスワクチン接種事業や、住民税非課税世帯等臨時特別給付事業の実施のほか、人事異動に伴う人件費の組み替えなど、補正総額2億8232万円の4年度一般会計補正予算（第2号）が提案され、全員賛成で可決しました。補正後の予算総額は116億3337万円です。



補修される日当橋

※この号の金額の記載は、個別の記載がない限り全て1万円以下切り捨てです。

請願採択

意見書提出へ

令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しに関する請願

- ▽提出者 新岩手農業協同組合 代表理事組合長 畑中新吉氏
- ▽紹介議員 佐藤克典議員、阿部幸一議員、坂本正義議員
- ▽請願の要旨 国に対し、生産者が意欲を持って作付できるよう、現場の課題を十分に検証したうえで制度設計を行うことなどを記載した意見書を提出すること
- ▽付託委員会 産業建設民生常任委員会
- ▽審査の結果 採択
- ▽意見書提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、内閣官房長官

委員会活動

閉会中の調査項目を決定

総務教育常任委員会と産業建設民生常任委員会では、閉会中の継続調査を行います。

総務教育常任委員会

- (1) 新型コロナウイルス感染症に関することについて
- (2) 再生可能エネルギーに関することについて
- (3) ふるさと応援寄付金に関することについて
- (4) 持続可能な開発目標（SDGs）に関することについて
- (5) まちづくり政策の推進について
- (6) 小中学校について
- (7) 防災について

産業建設民生常任委員会

- (1) 新型コロナウイルス感染症対応について
- (2) 商工観光の振興について
- (3) 水産業の振興について
- (4) 令和元年台風19号被害からの復旧復興について

町政を問う

一般質問 7人登壇

6月定例会では、6月7日から8日の2日間にわたり、7人の議員が一般質問をし、活発な議論が展開されました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。議員の質問時間は1人20分以内で、町側の答弁時間は含みません。

紙面の都合上、掲載できなかった一般質問は、9月下旬ころから議会ホームページ、図書館で閲覧可能となる予定です。

質問議員 (質問順)	質問事項	掲載 ページ
昆 清	○サケのふ化・放流事業について ○水産業の持続化対策とマルチ漁業の推奨について ○魚市場経営の強化について	5
阿 部 吉 衛	○観光について ○潮干狩りに関して ○コロナ対策について	6
木 村 洋 子	○国保税の軽減について ○障害者控除について ○鳥獣被害について ○妊産婦のタクシー代助成について	7
関 清 貴	○教育行政について ○産業振興について ○住宅施策について	8
横 田 龍 寿	○大豆の活用について ○みどりの食料システム戦略について ○米の消費拡大について ○鳥獣被害対策について ○小水力発電・マイクロ水力発電について	9
菊 地 光 明	○山田北インターフル化について ○千島海溝地震について ○防災拠点について ○防潮堤について ○独占禁止法について ○魚介類の自給率について	10
豊 間 根 信	○山田北インターフル化への今後の展開について ○経済対策について ○津波浸水想定について	11

問 魚市場の公設民営化は

答 動向を注視し情報を収集

問 漁家並びに三陸やまだ漁業協同組合の経営基盤ともいべき魚市場は、現在山田漁業協同組合連合会によって運営され、地方卸売市場としての役割を果たしている。しかし、近年の記録的漁獲量の低迷により取り扱い手数料の増加が見込めないと聞く。このことは魚市場の経営を著しく圧迫している要因のように見受けられる。近

隣の魚市場は公設民営で良好な経営を続けている組織体が多く、公共の施設として漁家及び漁協組織が安心して漁業に従事できる環境整備が望ましいと考える。地球温暖化により、厳しい環境下に置かれる漁業経営の充実のためにも、魚市場の公設民営化は、極めて重要な取り組みと思われるが、町の見解は。

佐藤町長 魚市場は漁業経営の基盤であり、その存続は漁業者や漁協経営に大きな影響を与えることは認識している。山田魚市場については、県漁連や東日本信漁連などで組織するJF経営指導岩手県委員会による経営健全化に向けた取り組みが進められているところであり、公設民営化については今後の動向を注視し、県内の情報を収集しながら研究していく。



議員 清 新 生 会 (新 生 会)

◆ 水産業の持続化対策は
◆ 付加価値の高い魚介類の先進的加工技術の推奨は

その他の質問

答 国や県に回帰率の向上を要望

問 サケの不漁対策は



漁業活動の中心である山田魚市場

問 地球温暖化により、基幹魚種であるサケの不漁が歴史的な不漁となっている。基幹魚種であるサケの不漁問題について、町の対策は。

町長 県内の秋サケ漁獲量はピーク時に7万トンあったが、昨年度は413トンとこれまで経験したことがない危機的状況となっている。不漁の原因については、海洋環境の変化などが指摘されており、各所において、研究が進められている。

サケ資源はふ化放流事業に由来していることから、より強い稚魚を放流し、回帰率の向上を図られるよう引き続き国、県に対し要望していく。

オランダ島 土砂崩れへの対策は

問

答

定期的な観察や県の事業で対策



あべよしえ 議員
阿部吉衛 (新生会)

2年12月に東側、南側

それぞれ1箇所土砂崩れが発生し、3年3月に崩れた土砂等の撤去を行ったがその後何度も土砂崩れが続いている。どう認識しているか。今後の整備や対策は。

生していることは確認している。南側で発生した土砂崩れ箇所は県の治山事業により崩落防止対策を講じる。また、島の南東部も、定期的な観察を続け状況の把握に努め、対策等を検討していく。

善に向けた取り組みは。

路の草刈りは海水浴シーズン前に実施する計画。倒木処理はシーズン前に終了するよう専門の業者に依頼し対応する予定としている。



観光シーズン中は特に安全面に配慮が必要

東日本大震災により自治会が解散し、地域組織のない地区があると聞く。今後、町では自治会組織づくりをどのように進めていくのか。

め、お互いが支え合うという意識の下に結成されることが重要であると考えている。地域コミュニティ組織結成の進め方については、住民主導という考えを基本とし、地域の方々による意見交換会の開催、発起人会の設立、住民集会の開催による地域の意見集約などのステップを踏みなが

ら、設立に向けた支援を行っていく。また、「コミュニティ形成支援員」による組織の育成・活動支援も行う。現在、柳沢・北浜地区の地域コミュニティ組織の結成に向け、行政区长や住民有志との意見交換会を開催するなど取り組みを進めている。

問

答

自治会組織づくりの進め方は

住民主導の考え方を基本に支援



きむら ようこ 議員
木村洋子 (日本共産党)

問 子どもの均等割軽減の検討は

答 町独自の軽減策の考えはない

問 全国知事会や全国市長会も「子育て世帯の負担軽減」を要望してきた。宮古市では、2019年度から18歳までの独自の「均等割」の軽減策を実施している。第1回定例会予算特別委員会においても、子どもの「均等割」の軽減は検討課題となっていたが、どのように検討されたか。

佐藤町長 国では4年度より未就学児の均等割保険税の5割を公費負担とした。県内では宮古市と陸前高田市が独自の軽減策を実施しているが、他の市町村では実施していない。現在、町として独自に軽減策を講ずる考えはない。

問 妊産婦のタクシー代助成は

答 助成について検討する

問 当町では、健診、分娩は宮古市などの町外の病院まで行かなければならない実情がある。安心して妊娠、出

町長 産ができるよう受診時等タクシー代の助成を行うべきではないか。タクシーで通院する場合は交通費が高

額となることから、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、助成について検討していく。

問 鳥獣被害対策チームを設置しては

答 現体制で実施していく

問 農林業の被害が年々増えている。実態と対策は。

町長 本町でもニホンジカやハクビシンなどによる農林業への被害は増加傾向にあり、特にニホンジカによる水稲や大豆、原木シイタケ、植林後の苗木などへの被害が顕著である。対策として、捕獲

問 近年は、シカによる被害が深刻な事態と受け止めるが、町として鳥獣被害の対策チームを設置し抜本的対策を実施すべきでは。

町長 町では、山田猟友会会員で組織する「山田町鳥獣被害対策実施隊」を設置し、有害鳥獣の捕獲や追い払い、被害状況の確認などに積極的に取り組んでいる。当面は現体制で実施していく考えである。



電気柵等、効果的対策の構築を

や定期的なパトロールの実施、侵入防止柵の購入費に対する助成を行うなど、鳥獣被害の防止に努めている。

その他の質問

- ◆ 要介護認定者が障害者控除を受けやすくなるように手続きを簡素化すべきでは
- ◆ 学校給食の物価高騰への対応は
- ◆ コロナ禍での住民の孤立化対策は
- ◆ 観光にサイクリングを活用しては

問 郷土史、防災の学習は

答 総合的学習を
活用して実施



せき 関 きよ たか 清 貴 議員
(政 和 会)



真剣なまなざしで農業体験に励む児童たち

問 小、中学校で郷土の産業を体験する学習、郷土史の学習、防災教育を行っている

か。また、「鯨と海の科学館」を活用した学習は。
佐々木教育長 学校では地域学校協働活動として、総合的な学習の時間を活用し実施している。3年度小学校で漁業に関する学習を26回、防災学習1回、郷土史学習2回、郷土資料を利用した学習を1回開催。中学校では漁業に関する学習4回、

様々な業種の方の講話を聞く学習を1回。各校、各学年で震災学習を年複数回、避難訓練を年4、5回実施。鯨と海の科学館を利用した学習は、施設見学のほか、海の生き物に関する学習を実施している。

問 教育委員会の主導で、郷土理解を重点的に進めることはできないか。
教育長 学校の教育課程は学校長が決めるが、本町の学校では郷土理解に力を入れていると認識している。また、教育委員会では、リーフレットを作成したり、コーディネートターを派遣し学校と地域を結ぶことも行っている。

問 諸物価の高騰で学校給食の値上げが予測されるが支援策は。
教育長 現時点では給食費の値上げは考えていない。
問 様々な財源を確保し、児童・生徒の栄養が不足することのない給食の提供を。
芳賀教育次長 財源をしっかりと確保し、バランスが保たれた安定的な給食を提供する。

問 北インターを活用した企業誘致は
答 県と連携して誘致活動を進める

問 三陸道路のアクセスの良さを利用し、優遇制度を拡充し、企業誘致活動を進めては。
佐藤町長 近隣の支援内容などを研究し、県と連携して誘致活動を進めたい。

町長 北インターのフル化に伴い当地域への波及効果が期待されることから、農業者や関係団体等の意向を確認のうえ検討したい。

問 豊間根地区の特性を活かし、農産物の集荷、加工施設等の整備は。

- ◆ 観光として潮干狩りを考えているか
- ◆ 豊間根地区に防災基地を考えては
- ◆ 災害公営住宅の管理運営の一本化は
- ◆ 高齢者の見守りの体制は
- ◆ 新型コロナウイルスの情報の伝達は

その他の質問



よこ た たつ ひさ
横 田 龍 寿 議員
(政 和 会)

問 ジビエ加工施設の整備は

答 現時点で整備の考えはない



大槌のジビエ加工施設と直売所

写真提供：大槌町役場

問 令和2年第1回定例会でジビエ加工施設の整備を提案した。その時の答弁では考えていないとのことだったが現時点ではどうか。

佐藤町長 ジビエ加工施設の整備にあたっては、食用に適した捕獲鳥獣を安定的に確保する必要があり、設備投資と運用面で多額の費用がかかることから現時点においても施設整備の考えはない。

問 大槌のジビエ加工施設が運営を開始してから2年が経過するが、山田猟友会にジビエ加工施設についてどう考えているか聞き取りをしては。

佐々木農林課長 山田猟友会と具体的に話をしたことはない。今後、意向を聞いていきたい。

問 残土置き場の設置は

答 候補地を探しているところ

問 産業建設民生常任委員会が所管事務調査で要望した残土置き場の設置は。

町長 災害時の土砂流出など不測の事態に備

えるためにも、常に受け入れ可能な残土置き場の確保は必要である。現在、候補地の選定作業を行っているところだが、残土運搬車

両の通行確保や周辺民家への影響といった課題がある。引き続き検討を進める。

問 代替肉の製造を推進しては

答

現時点で推進する考えはない

問 大豆を使った代替肉の製造を推進してはどうか。

町長 健康志向や環境問題への意識の高まりにより大豆などを加工した代替肉が商品化されているが、初期投資や生産コストの面で課題も多く、現時点で代

替肉の製造を推進する考えはない。

問 かつて大手食品メーカーと契約して野菜を栽培していたケースが町内であった。提携、契約ならどうか。

農林課長 今後機会があれば検討していきたい。

その他の質問

- ◆米粉を小麦粉の代替として
- ◆みどりの食料システム戦略の推進は
- ◆小水力発電・マイクロ水力発電を導入しては
- ◆山田町で求めている人材をアピールして移住促進をしては

山田北 | Cフル化 今後の展開は

問

答

整備に向け 現地調査など進行



ことまねま 信根 議員
まことまねま 信根 議員
とよま 豊間 (政和会)

問 第1回定例会以後、進展の方向性が示され、今後ますますのアクションが期待されている。今後どのようなビジョンを描き、どのようなスケジュールで進んでいくのか。

佐藤町長 現在、三陸国道事務所では、整備に向け現地調査などの作業を進めている。町では用地案件の解決などに積極的に協力するとともに整備費予算の確保を主とした要望を行う。

問 近隣市町村との連携をはじめとして、企業誘致・現状の企業への積極的投資・人材育成への支援など、町の施策は。

町長 工場増設に伴う固定資産投資及び人材

育成の支援として「企業立地補助金」や「金型技術者育成補助金」制度を実施している。

答

問

県「津波浸水想定」発表 町の活動は 地域と連携し津波避難の啓発を行う



普段から避難看板などを確認しておくことも大切

問 県からかなり詳細に、多角的視点で学的、専門的な事項をもとに検討体制への考え方が発表された。今後の町の持続的な取り組み方は。

町長 住民の避難を軸とした津波対策の推進が求められる、「迅速かつ円滑な避難」がより重要となった。町として

は「東日本大震災の教訓」や「今後起こり得る津波への備え」など、機会を捉えて情報発信していく。自治会や自主防災組織などと連携し、地域の避難訓練をはじめとした防災活動を通して津波避難の啓発を行い、住民の避難意識の向上及び維持に努める。

問

答

町経済対策 今後の展開は

関係機関と連携し積極的に支援する

問 農林漁業、商工業、観光業をはじめ、すべての分野においてこれまで実施してきた経済施策対応策の成果・課題及び今後の展開について問う。

町長 経営継続のための支援金給付事業やプレミアム付き商品券事業など一定の成果を収めたこと認識しているが、今後はコロナ収束後を見据えた新たな経

済施策が必要となる。本年度から町内の住宅関連産業を中心とした地域経済活性化策として、新築リフォーム工事及びエアコン設置工事に対する費用の一部

を補助する施策を実施している。各産業のさらなる発展と町内事業者の安定した事業継続に向け、関係機関と連携した支援に積極的に取り組んでいく。

一般質問

みんなの「声」

Vol. 18

町民の皆さまからの町への提言、思いなどを紹介します。
表紙(1ページ)に登場いただいた武藤さん家族にお話を聞きました。



右から
一仁さん
翼くん(13歳)
香織さん

産業全体に力を!

町の良いところは
海の物をはじめ山や林産物が美味しいこと。

町に望むことは
産業全体に力を入れてほしい。

子どもに望むことは
健康に育ってほしいことと、少しでも社会のために役立つ人になってほしい。

傍聴席から

ひとこと

No. 60

やまもと あきこ
山本 明子さん

6月7日、私は友人3人と思いがけない斬新な体験をすることができました。ごく近い場所です。淡々と日々努力してくださる方々がいらつしやることに深い感動を得ました。と言うのも、この日、私たちは山田町議会第2回定例会を傍聴しました。何か自分のようなものが、町長や議員の皆さん、そして町役場の担当課長の皆さんが、整然と姿勢を正して、肅々と私たち町民のために、いろいろな努力や準備をして、議場で真剣に労を尽くしていただくことに本当に感動し、熱い思いが込み上げてきました。自分もこの町の一員なのだ、襟を正さねばと感じました。

そして一人でも多くの方々が、一度なりとも陰で頑張っていて下さる方々、全ての立場の方々に、小さいこころした一歩で知ることができると知り、それがお互いにお互いを励まし合っていていく結果になるのだと納得できました。最近80歳の誕生日を迎えたばかりの私は、この年齢を迎えてこのような体験ができたことは素晴らしい時間でした。世の中には、当たり前のことを当たり前と知りもせず、簡単に笑ったり、怒ったり、批判したりと、本当に情けなく、自分を戒めていかねばと思ひ知る体験となりました。

ありがとうございます。

▼新・道の駅の建設工事安
全祈願祭が6月23日に行
われました。新・道の駅の
工事については、今回の記
事のトップにもなってい
ます。また、大沢地区の新
たなコミュニティ集会施
設の建設工事も始まりま
した。新たなまちづくり
が進んでいます。▼さて、
この議会だより、今号から
字が大きくなっています。
見やすくなったな、と感じ
ていただければ幸いです。
私たち議会広報編集特別
委員は、分かりやすいと感
じていただけるよう用語
解説を入れたり、見やすく
するため色合いを工夫し
たりと、改善点を話し合
いながら紙面作りを進めて
いきます。ぜひ皆様からの
表紙写真の応募もお待ち
しております。(阿部幸一)

おしらせ

● 次の定例会は9月9日(金)に開会する予定です。
お気軽にお越しください。

● 議会だよりでは、表紙の写真を募集しています。
詳しくは町のホームページをご覧ください。

あとかき

◆発行責任者

議長	長 毘 暉 雄
◆議会広報編集特別委員会	
委員長	菊 地 光 明
副委員長	阿 部 吉 清
委員	阿 部 吉 清
豊 間 根 吉 清	
阿 部 幸 一	
横 田 幸 一	
阿 部 幸 一	